

泌尿紀要
Acta Urol. Jpn.

ACTA UROLOGICA JAPONICA
Vol. 35, No. 3 March 1989

泌尿器科紀要

第35巻 第3号 1989年3月

【原著】

爆薬を用いた体外衝撃波結石破碎法の臨床経験……………本田 幹彦・ほか… 385

腸管を利用した尿路変向術, 尿路形成術後の尿路結石に対する
PNL の治療経験……………大西 規夫・ほか… 393

女子自己導尿のための携帯用鏡(英文)……………横山 雅好・ほか… 397

前立腺吸引細胞診の有用性について……………野口 和美・ほか… 399

TUR-P で発見された偶発前立腺癌……………増田 光伸・ほか… 403

前立腺癌患者における血清 γ -セミノプロテインの検討……………石原八十士・ほか… 409

ホルモン不応性前立腺癌に対する IFM 療法および VIP 療法……………温井 雅紀・ほか… 415

ラット前立腺におけるコレステロール蓄積に関する検討……………津ヶ谷正行・ほか… 421

前立腺炎における化学療法剤の薬効評価法について……………守殿 貞夫・ほか… 427

尿路性器感染症における *Chlamydia trachomatis* IgG
抗体の意義について……………内島 豊・ほか… 447

尿路性器感染症患者に対する *Chlamydia trachomatis* の検出……………黒田加奈美・ほか… 453

ヒト精漿中乳酸脱水素酵素-C₄(LDH-C₄)の研究:
酸素反応速度の研究(英文)……………内島 豊・ほか… 457

【症例】

後腹膜線維肉腫の1例……………山口 豊明・ほか… 465

赤血球増多症を伴った腎腫瘍の1例……………田中 重人・ほか… 469

転移性腎腫瘍の2例……………小池 博之・ほか… 475

Milk of Calcium Renal Stone の1例……………大藪 裕司・ほか… 481

腎盂形成術後に発生した腎盂尿管吻合部異物肉芽腫の1例……………石田 章・ほか… 485

細胞異型を伴った膀胱 inverted papilloma の1例……………横山 修・ほか… 489

炎症性膀胱腫瘍の1例……………鈴木 博雄・ほか… 493

MRI で術前診断が可能であった女子膀胱平滑筋腫の1例……………西村 一男・ほか… 497

尿管・膀胱マラコプラキアの1例……………水永 光博・ほか… 501

膀胱の粘膜下腫瘍が疑われた Cystitis cystica and glandularis の1例……………増田 光伸・ほか… 505

心因性尿閉の2例……………北見 一夫・ほか… 509

外傷性睾丸破裂の1例……………松田 久雄・ほか… 513

陰茎に発生した Bowenoid papulosis の1例……………岩井 謙仁・ほか… 517

陰茎リンパ管腫の1例……………竹山 政美・ほか… 523

【治験】

泌尿器科癌患者における癌化学療法後の
白血球減少症にたいする Muroctasin; MDP-Lys (L18) [DJ-7041] の
白血球回復効果について……………大石 賢二・ほか… 527

神経性頻尿に対する塩酸テロジリンの臨床的検討……………朴 英哲・ほか… 537

前立腺肥大症に対する塩酸モキシシトの有用性に関する検討……………泉 博一・ほか… 541

Lomefloxacin (NY-198) の前立腺組織ならびに前立腺液移行……………那須 良次・ほか… 551

泌尿器科紀要

Advisory Committee

阿曾 佳郎 熊本 悦明 園田 孝夫 田崎 寛 前川 正信
町田 豊平 宮崎 重

Editor : 吉田 修

Deputy Editor : 竹内 秀雄

Associate Editors

大川 順正 折笠 精一 熊沢 淨一 小磯 謙吉 友吉 唯夫
渡辺 決

Editorial Board

生駒 文彦 上田 豊史 碓井 亜 大江 宏 大島 伸一
大島 博幸 大田黒和生 大野 良之 大森 弘之 岡 隆宏
岡島英五郎 岡田謙一郎 岡田 裕作 岡本 重禮 香川 征
垣添 忠生 片山 喬 加藤 哲郎 守殿 貞夫 河合 恒雄
河田 幸道 河邊 香月 川村 寿一 川村 猛 桐山 畜夫
栗田 孝 桑原 正明 郡 健二郎 古武 敏彦 小松 洋輔
小柳 知彦 近藤 厚生 酒徳治三郎 桜井 昂 里見 佳昭
島崎 淳 白井 将文 瀬川 昭夫 田中 啓幹 津川 龍三
土田 正義 東間 紘 中田 瑛浩 名出 頼男 東原 英二
久住 治男 平尾 佳彦 三品 輝男 宮川美栄子 三宅 弘治
宮崎 一興 矢谷 隆一 八竹 直 山中 英寿 山辺 博彦

Managing Editor : 松田 公志

Language Editor : 貝原 純子

Secretary : 太田 賢

購読要項 (1986年1月改訂)

1. 発行は毎月、年12回とし、年間購読者を会員とする。
2. 会員は年間予約購読料8,000円(送料とも)を前納する。払込みは振替に限る。口座番号 京都 5-4772番 泌尿器科紀要編集部宛。
3. 入会は氏名、住所を記入のうえ編集部宛、はがきにて申し込めば所定の用紙を送付します。

投稿規定 (1989年3月改訂)

1. 投稿：連名者を含めて会員に限る。
2. 原稿：泌尿器科学領域の全般にわたり、総説、原著、症例報告、臨床統計、そのほかで英文または和文とする。原著、症例報告、臨床統計などは、他の雑誌に発表されたことのない内容でなくてはならない。
 - (1) 総説、原著論文、臨床統計、そのほかの普通論文の長さは、原則として、刷り上がり本文5頁(400字×20枚)までとする。
 - (2) 症例報告の長さは、原則として、刷り上がり本文3頁(400字×12枚)までとする。
 - (3) 和文原稿はできるだけワープロを使用し、B5版用紙に20字×20行、横書きとする。年号は西暦とする。文中欧米語の固有名詞は大文字で、普通名詞は小文字で始め(ただし、文節の始めに来る場合は大文字)、タイプで明瞭に記載する。
 - (i) 原稿の表紙に標題、所属機関名、主任名(教授、部長、院長、科長、医長など)、著者名の順に和文で記載する。筆頭者名と、2語以内の running title を付記する。
例；山田，ほか：前立腺癌・PSAP
 - (ii) 英文抄録：和文の表紙、本文とは別に標題、著者名、所属機関名、5語(英文)以内の Key words、抄録本文の順にB5版ダブルスペースでタイプし、別にその和訳をつける。ワープロ原稿可。
 - (4) 英文原稿はA4版原稿用紙にダブルスペースでタイプし、原稿の表紙に標題、著者名、所属機関名、key words (和文に準ず)、running title (和文に準ず)の順にタイプし、別に標題、著者名、所属機関名、主任名、抄録本文の順に記した和文を付記する。
 - (5) 図(Fig.)、表(Table)は必要最小限にとどめ、普通論文では図10枚、表10枚まで、症例報告では図5枚、表3枚までとする。
図、表、写真などはそれぞれ台紙に貼付し、それらに対する説明文は別紙に一括して一覧表にする。説明文は英文を原則とする。原稿右欄外に挿入さるべき位置を明示する。写真はトリミングし、図・表は誤りのないことを十分確認のうえ、トレースして紙焼したもの(望ましい)が望ましい(コピー不可)。様式については本誌の図・表を参照する。写真は明瞭なものに限り、必要なら矢印(直接写真に貼付)などを入れ、わかりやすくする。
- (6) 引用文献は必要最小限にとどめ、引用箇所を本文の文脈順に入れる(アルファベット順不可)。その数は30までとする。

例：山田^{1,8,7)}、田中ら^{8,11-13)}によると…

雑誌の場合—著者名(全員)：標題、雑誌名 巻：最初頁-最終頁、発行年

例1) Finney RP, Sharpe JR and Sadlowski RW: Finney hinged penile implant: experience with 100 cases. J Urol 124: 205-207, 1980

例2) 竹内秀雄, 上田 眞, 野々村光生, 飛田収一, 大石賢二, 東 義人, 岡田裕作, 川村寿一, 吉田修: 経皮的腎砕石術(PNL)および経尿道的尿管砕石術(TUL)にみられる発熱について。泌尿器科紀要 33: 1357-1363, 1987

単行本の場合—著者名(全員)：標題、書名、編集者名、版数、巻数、引用頁、発行所、出版地、発行年

例3) Robertson WG, Knowles F and Peacock M: Urinary mucopolysaccharide inhibitors of calcium oxalate crystallization. In: Urolithiasis Research. Edited by Fleisch H, Robertson WG, Smith LH and Vahlensieck W. 1st ed., pp.331-334, Plenum Press, London, 1976

例4) 大保亮一：腫瘍病理学. ベッドサイド泌尿器科学, 診断・治療編. 吉田 修編, 第1版, pp. 259-301, 南江堂, 東京, 1986

- (7) 原稿は, オリジナル1部とコピー2部(図, 写真は3部ともオリジナル)を書留で送付する. 万一にそなえて, コピーを手元に控えておくこと.

(原稿送付先)

〒606 京都市左京区聖護院山王町18

メタボ岡崎 301号

泌尿器科紀要刊行会宛

- (8) 論文の採否: 論文の採否は Editorial board のメンバーによる査読審査の結果に従い決定される.
- (9) 論文の訂正: 査読審査の結果原稿の訂正を求められた場合は, 40日以内に, 訂正された原稿に訂正点を明示した手紙をつけて, 編集部宛送付すること. なお, Editor の責任において多少字句の訂正をすることがある.
- (10) 校正は著者による責任校正とする. 著者複数の場合は校正責任者を投稿時指定する.
- (11) 投稿にあたっては, 本誌を十分参考にして体裁を守ること.

3. 掲載

- (1) 論文の掲載は採用順を原則とする.

迅速掲載には迅速掲載料を要する. 5頁以内は30,000円, 6頁以上は1頁毎に10,000円を加算したものを申し受ける.

- (2) 掲載料は1頁につき和文は5,500円, 英文は6,500円, 超過頁は1頁につき7,000円, 写真代, 凸版, トレーズ代, 別冊, 送料などは別に実費を申し受ける.

- (3) 薬剤の効果, 測定試薬の成績, 治療器械の使用などに関する研究論文(治験論文)については, 掲載料を別途に申し受ける.

4. 別冊: 実費負担とし, 著者校正時に部数を指定する.

Information for Authors Submitting Papers in English

1. Manuscripts, tables and figures must be submitted in three copies. Manuscripts should be typed double-spaced with wide margins on 8.5 by 11 inch paper. The text of all regular manuscripts should not exceed 12 typewritten pages, and that of a case report 6 pages. The abstract should not exceed 250 words and should contain no abbreviations.
2. The first page should contain the title, full names and affiliations of the authors, the director's name, key words (less than 5 words), and a running title consisting of the first author and two words.
e.g.: Yamada, et al.: Prostatic cancer・PSAP
3. The list of references should include only those publications which are cited in the text. References should not exceed 30 readily available citations. Reference should be in the form of superscript numerals and should not be arranged alphabetically.
4. The title, the names and affiliations of the authors, the director's name, and an abstract should be provided in Japanese.
5. For further details refer to a recent journal.